

道徳の時間学習指導案

三次市立三良坂中学校
指導者 T 1
T 2

- 1 日 時 平成29年11月10日(金) 第2校時
- 2 学 年 第3学年 20名(男子10名, 女子10名)
- 3 場 所 中学校棟 3学年教室
- 4 主題名 高め合える人間関係 【内容項目 B 友情・信頼】
- 5 ねらい 進路選択に対して悩み、葛藤する真一の姿に寄り添い考えることを通して、互いに高め合える人間関係を築くには相手を尊重したり、信頼したりすることが必要であることに気づき、自らもよりよい人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。
- 6 教材名 「アイツの進路選択」(一部改作) 出典【中学生の道徳3 自分をのばす(あかつき)】

7 主題設定の理由

○主題観・価値観

本主題は、「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」B-(8)、「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性について理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと」をもとに設定した。

中学校の段階は、親や教師から自立しようとする発達の段階にあり、世代間の違いによるものの方や考え方、価値観の違いを強く意識するようになるため、心を開いて話せる友達(同性間、異性間)を得たいと願う気持ちが高まってくる。その一方で、自分が傷つくことを恐れるあまり、最初から一定の距離をとったり、相手に対して無批判に同調したりするなど、複雑な思いに囚われる場合も出てくる。しかし、友達であるからこそその悩みや葛藤を経験し、共にそれを乗り越えることで、生涯にわたり尊敬し合い、共に高まり合える関係を深めることが重要であるということに気付かせたい。

○生徒観

本学級の生徒は、i-checkの【友達の支え】(表1)に関わる項目のポイントが概ね高く、友達関係は良好であると捉えている生徒が多い。事実、休憩時間や給食の時間等において、いろいろな話で盛り上がりたり、共に学習に励んだりするなど、仲良く楽しく学校生活を送っている姿が見受けられる。

しかし一方で、【思いを伝える力】(表2)に関わる項目のポイントは低く、自分の思いや考えを相手に十分伝えきれていない様子が伺える。実際、クラスの中で友達との関係に悩んで相談にくる生徒は少なくない。相手にどう思われているかが気になる者や、思っていることを直接相手に伝えることができない者など、話を聞けば真に相手と深く関わり合えていない現状が見えてくる。そういった生徒に共通していることは、相手によく思われたいという思いが強過ぎて、角が立つことを極端に嫌う点である。そのため、互いの利にならないことにも付和雷同してしまい、表面上の付き合い(浅い人間関係)に留まっているところがある。

表1 《i-check 結果【友達の支え】》(実施20人)

質問項目	クラス肯定率 [%]	全国肯定率 [%]
あなたの気持ちを分かってくれる友達がいますか。	100	87.8
辛いことや、困ったことがあったとき、何でも本音で相談できる友達がいますか。	90	81.8
あなたが頑張ったとき、友達から、頑張ったね、すごい	100	87.5

ねと、褒めてもらったことがありますか。

表2 《i-check 結果【思いを伝える力】》(実施20人)

質問項目	クラス肯定率 [%]	全国肯定率 [%]
クラスや友達の間で、話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言する方ですか。	65.0	53.3
クラスの多くの人や仲のいい友達と意見が違って、自分が正しいと思ったことは、それを主張することができますか。	50.0	60.9

○教材観・指導観

本教材は、主人公の真一が、幼なじみで付き合っている仲の夏樹との進路をめぐる悩み、葛藤する話である。共に同じ高校に進学しようと約束していたが、真一は、自分が本当にしたいことは何なのかと悩み、普通科の高校に志望校を変更する。その後、自分の考えを夏樹に打ち明けるものの、夏樹はショックを受ける。その夜、夏樹の母から娘が急に進路変更したいと言い出したが、何か知らないかと連絡を受けた真一は、ますます夏樹との関係に悩み、これからどうすべきかと悩み、葛藤する話である。高め合える人間関係について考えることができる教材であり、自分本位の考えではなく、他者と自分とのよりよい人間関係づくりに必要なものを考えることができる。

指導にあたっては、「真一になったつもりで、夏樹に自分の考えを伝えよう。」を中心発問として授業を展開する。その際、中心発問に至るまでの基本発問で、二人の関係に不安や戸惑いを感じている真一は、「お互いのためになる進路選択をするために、真一はどうすべきだろう。」と問うことで、より良い関係を築き上げるためには、お互いにしっかりと話し合いをすることが大切であることに気付かせたい。

その後グループで、真一はどのような思いを伝えるかを考えることを通して、互いに信頼し、高め合える関係を築くためには、相手の気持ちを受容しつつも、自分の気持ちを正直に伝える必要がある点に気付かせたい。その際、例え感情の行き違いや考え方の食い違いから人間関係のきしみなどが生じたとしても、互いの人格を尊敬する視点から克服することで、より一層深い人間関係が構築されることにも気付かせ、自身の実践意欲につなげさせたい。

8 指導のポイント

(1) 小中9年間の発達段階における【友情、信頼】のとらえ

段階	学習指導要領 (ねらい)	ポイント	児童・生徒の言葉
低学年	友達と仲よくし、助け合うこと。	友達と仲良くする。 助け合う。	・一緒に勉強するのが嬉しいな。 ・友達と一緒に頑張れる。
中学年	友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。	互いを理解する。 信頼し、助け合う。	・困ったとき、相談に乗ってくれる。 ・一緒にいると楽しく過ごせる。 ・悲しいとき、慰めてくれる。
高学年	友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。	互いを信頼する。 学び合う。 友情を深める。 異性を理解する。	・離れていても考えてくれる。 ・互いに励まし合って生きていける。
中学生	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	友情を尊ぶ。 友達を信頼する。 高め合う。 異性を理解する。 人間関係を深める。	・相手と対等な関係が友情である。 ・表面的な仲間関係にとどまり、傷つくことを恐れて本音が言えない関係からは、友情は生まれない。

(2) 主体的に学び合う授業づくりについて

○中心発問へのアプローチ

- ・主人公の進路選択に夏樹が左右されていることを理解させるとともに、真一がそのことに戸惑い、悩んでいる状況を共感的に捉えさせる。その上で、「お互いのためになる進路選択をするために」の視点で、今後の主人公の具体的な行動や言葉がけについて考えさせる。

○自分の生活へつなげる工夫

- ・恋愛関係に絞らず、友人関係や先輩・後輩の関係も含めて、本当に相手のことを大切にするというの

はどういうことかを、本時で考えたことをもとに記述させる。

(3) 協働的に学び合う授業づくりについて

- ・中心発問において、主人公になったつもりで、夏樹にかけるセリフを班で意見を出し合いながら考えさせる。その後、寸劇形式で発表させる。

9 評価

(1) 授業評価のためのルーブリック

Hop	Step	Jump
進路選択に対して悩み、葛藤する真一の姿に寄り添い考えることができる授業であった。	互いに高め合える人間関係を築くには相手を尊重したり、信頼したりすることが必要であることに気づくことができる授業であった。	自らもよりよい人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲と態度を養うことができる授業であった。

(2) 自己評価のためのルーブリック

小学校4年生～中学生

レベル1	レベル2	レベル3
【 】について、考えることができた。	【 】についての自分の考えを、他者に伝えることができた。	【 】についての考えを、友達のととの相違点をもとに、深めたり広げたりすることができた。

期待する生徒の記述(キーワード)

[高め合う関係 信頼 互いを尊重すること 互いの成長 互いを大切にすること 望ましい男女関係]

10 準備物

教材(一部改作)、道徳ノート、発問短冊、ホワイトボード、マーカー

お互いを信頼し、高まり合いながら生きる

中心となる学習活動：文化祭（特別活動）

主体性を育てる

【特別活動における道徳教育のねらい】
困難や失敗の中でも、個性を大切にし、向上心をもって行動しようとする。

道徳の時間
「脚本家が出来上がるまで」
(あかつき)

A 向上心、個性の伸長
困難な状況でも向上心をもって取り組み、個性を伸長する筆者の姿を通して、目的や目標をもって努力し続けることの大切さに気づき、自らも力強く積極的に自己の人生を切り拓こうとする道徳的実践意欲と態度を養う。

自己有用感を育てる

【特別活動における道徳教育のねらい】
卒業生が築き上げてきた文化祭の意味を考え、3年生として中学校の伝統・文化を継承し、受け継ごうとする。

道徳の時間
「心がひとつに」
(あかつき)

C よりよい学校生活、集団生活の充実
卒業式に際して、阪神・淡路大震災で被災し、亡くなった千香子さんの呼名に対して、クラス全員で話し合って全員で返事をし、卒業生全員が式の最後に自然と感謝を表現した行動を通して、学級や学校に所属する一員としての自覚を深め、皆と協力し合ってよりよい校風を築いていこうとする道徳的心情を養う。

コミュニケーション能力を育てる

【特別活動における道徳教育のねらい】
文化祭の活動で悩み、考えながらも級友とより良い劇を完成させることのできる関係を築こうとする。

道徳の時間
「アイツの進路選択」

B 友情、信頼
進路選択に対して悩み、葛藤する真一の姿に寄り添い考えることを通して、互いに高め合える人間関係を築くには相手を尊重したり、信頼したりすることが必要であることに気づき、自らもよりよい人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。

道徳の時間D 生命の尊さ
「トナーカード」(あかつき)
生命の尊さを深く自覚し、自他の生命を尊重する態度を養う。

道徳の時間D 生命の尊さ
「キンぽあちゃんの橋」(あかつき)

1学期

10月~11月

3学期

○ 期待する意識の流れ

頑張る力を支えるものを考えよう。⇒思いをつなぐことは、「今」を未来へつなぐこと
⇒ 互いを信頼し、学び合い、友と歩もう

1 2 学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の心の動き (○主な発問, ◎中心発問, ・予想される児童生徒の反応)	T 1	T 2	○指導上の留意点 ☆評価の観点(評価方法)
導入	1 「人間関係」に関するアンケート結果を振り返る。	○「人間関係」(「相手を大切にすることはどういふことか」)に関するアンケート結果を紹介しします。	アンケート	板書	○事前アンケートの結果を紹介し、動機づけを行う。
展 開	2 教材を読んで内容を理解する。 3 教材について考える。 (1) 真一と夏樹の関係を確認する。	○二人はどんな関係でしょう。 ・幼なじみ。付き合っている。友達。	教材配布 板書 発問	範読 板書	○教材は一部改作としている。 ○幼なじみで、互いに好意を抱いている関係を捉えさせる。
	(2) 夏樹の進路変更を知らされた真一の気持ちを確認する。	○夏樹の進路変更を知らされた真一はどう思っただろう。 ・そんなに一緒にいたいのか。(嬉しさ, 驚き) ・夏樹を迷わせている。(申し訳ない・不安) ・夢があるのにそれでいいのか。(戸惑い) ⇒どうしたらいいんだろう。	発問 実態把握	板書 実態把握 補助発問	○真一の進路選択に夏樹が左右されていることと、真一がそのことに戸惑っている状況に気付かせる。
	(3) 真一の今後の行動について考え、発表する。 (個人)	○お互いのためになる進路選択をするために、真一はどうすべきだろう。 ・自分が安易に約束をしたことを謝り、今の正直な気持ちを話す。 ・本当にそれでよいか、互いに話し合う。 ・自分の考えを夏樹にしっかり伝える。 ・自分の夢を大事にすべきだと説得する。	発問 実態把握	実態把握 板書 補助発問	○理由を掘り下げて聞くなど、深入りはせず、起こすべき行動に特化して考えさせる。
	(4) 真一の思いについて考え、発表する。(グループ) 【かんがえる】 【問いをさがす】	◎真一になったつもりで、夏樹に自分の考えを伝えよう。(実際に伝えるセリフを書く) ・安易に約束をして、君を振り回してしまっごめん。でも、お互いのためになる進路選択をしないといけないと思うんだ。 ・一緒にいたい思いは同じさ。でも、君にははっきりとした夢があるじゃないか。そのためにも、北西工業に行くべきだよ。 ・離れ離れになってもずっと君のことだけを想っているよ。違う進路になるのは寂しいけど、励まし合って頑張っていこう。 【高め合う, 信頼, 尊重, 成長, 大切にしよう】	発問 実態把握 問いかけ 板書 切り返し	実態把握 問いかけ 切り返し	○「お互いのためになる進路選択をするために」の視点で考えさせる。 ○ホワイトボードを使用し、班の意見を1つにまとめる。 ○真一になったつもりで、T 2(夏樹役)に思いを伝えさせる。その際、切り返しをし、それに対する返答までさせる。 ○考えたセリフで大事にしたこと(価値)を、発表後にキーワードとして言わせる。
終	4 自分の生活を振り返る。(内省化) 【みらいへのヒント】	○本当に相手のことを大切にすることというのはどういふことだと思うか。 ・一緒にいて成長していける関係 ・大事にし合える関係	発問 実態把握	実態把握 板書	☆「高め合える関係」について、道徳的価値の自覚が深まっている。

末	5 ループリックで自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・高め合える関係 ・信頼し合える関係 <p>○今日の学習で考えた道徳的諸価値や学び方について、振り返りを書きましょう。</p>		<p>(道徳ノート)</p> <p>○数名の生徒に、未来へのヒント】を発表させる。</p>
---	-------------------	--	--	---

1.3 板書計画

・高め合う
・成長
・大切にし合う

・信頼
・尊重

【未来へのヒント】

- ・一緒に成長していける関係
- ・大事にし合える関係
- ・高め合える関係
- ・信頼し合える関係



◎真一になったつもりで、夏樹に自分の考えを伝えよう。

◎お互いのためになる進路選択をするために、真一はどうすべきか。

- ・安易に約束をしたことを謝り、今の正直な気持ちを話す。
- ・本当にそれでよいか、互いに話し合う。
- ・自分の考えを夏樹にしっかり伝える。
- ・自分の夢を大事にすべきだと説得する。

○進路変更を知らされた真一

嬉しさ 驚き 不安
申し訳ない 戸惑い
どうしたらいいんだろう

水明高 (普通科)
北西工 (建築科)

真一
幼なじみ
付き合っている
友達

夏樹

